

InfoHunter™

Plus for RS30

取扱説明書



改定記録		
改訂番号	改定日	内容
Rev.1.0	Jun 2015	初版

- 1.本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
- 2.本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
- 3.本書内に記載されている製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
- 4.本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 5.運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

目次

1. はじめに	6
1.1. 製品の特徴	7
1.2. 対応機種	7
2. メイン画面	8
3.1. 画面の説明	9
4. 入力画面	10
4.1. 画面の説明(ソフトウェアボード表示)	11
4.2. 画面の説明(ソフトウェアボード非表示)	11
5. 収集データ表示画面	12
5.1. 収集データリスト	13
5.2. 収集データ詳細	13
5.3. 入力データ詳細	14
5.4. 収集データ送信(印刷)	14
5.5. 収集データ送信(SD)	15
5.6. 収集データ送信(FTP)	15
6. 設定画面	16
6.1. 画面の説明	17
6.2. メニュー編集	18
6.2.1. 入力項目詳細設定	19
6.2.2. バーコード設定	20
6.2.3. 印刷フォーマット	21
6.3. メニュー読込(SD)	21
6.4. メニュー読込(FTP)	22
6.5. メニュー読込(QR読込)	22
6.5.1. 内蔵カメラ	23
6.5.2. バーコードスキャナ	23
6.6. QR表示	24
6.6.1. 一括表示	25
6.6.2. 分割表示	25
6.7. マスタ設定	26
6.7.1. マスタ読込(SD)	26
6.7.2. マスタ読込(FTP)	27
6.8. FTP設定	28
6.9. 通信設定画面	28
7. 各種ファイルフォーマット	30
7.1. 収集データファイルフォーマット	31
7.2. マスタファイルフォーマット	32
7.3. メニューファイルフォーマット	32
7.4. 印刷フォーマット	33
7.4.1. 使用できるフォント	33
7.5. メール送信フォーマット	34
8. バーコード設定	36
8.1. 1次元バーコード設定	37
8.2. 2次元バーコード設定	41

1. はじめに

このたびは、InfoHunter Plus for RS30 をご利用いただき、誠にありがとうございます。
本書では、InfoHunter Plus for RS30 の操作・設定方法について説明いたします。

1.1. 製品の特徴

InfoHunter Plus は、ハデ ィターミナル並みの業務リユー ションを提供するア プ リケー ションソフトです。

InfoHunter Plus には以下の機能が あります。

- ・コ ード 収集機能
- ・照 合機能（逐次/連続照合）
- ・マ スク参照機能
- ・メー ル送信機能
- ・FTP 送受信機能
- ・SD イ ンポ ート/エクス ポ ート機能
- ・印刷機能
- ・収集デ ータ一 覧表示
- ・メ ニューファイル機能

1.2. 対応機種

本体

- ・OS4.4.2
- ・RS30

2. メイン画面



3.1. 画面の説明



4. 入力画面

The screenshot shows the '入力' (Input) screen of the InfoHunter Plus application. The status bar at the top indicates the time is 13:50. The screen has a red header with the title '入力' and a sub-header 'サンプルメニュー' (Sample Menu). Below this, there are three input fields: '標番' (Label Number) with the value 'A10001', '商品コード' (Product Code) with the value '35AA000017', and '数量' (Quantity) with the value '10'. Below the input fields is a '撮影' (Photograph) section with a camera icon and a close button. At the bottom, there are two buttons: '↑ 上の項目へ' (Up to the previous item) and '確定' (Confirm). The footer shows a back arrow, the text '収集データ数 7 件' (Collected data count 7 items), and the 'InfoHunter Plus' logo.

入力

サンプルメニュー

標番
A10001

商品コード
35AA000017

数量
10

撮影

↑ 上の項目へ 確定

← 収集データ数 7 件 InfoHunter™ Plus

4.1. 画面の説明(ソフトウェアキーボード表示)



(*) 入力項目部分はスクロールします。

4.2. 画面の説明(ソフトウェアキーボード非表示)



5. 収集データ表示画面



5.1. 収集データリスト



5.2. 収集データ詳細



5.3. 入力データ詳細



入力データを表示します。
撮影データの場合は画像だけが表示されます。

5.4. 収集データ送信(印刷)



収集データをプリンタへ送信し、印刷します。

(*) 印刷のフォーマットは「7. 各種ファイルフォーマット」を参照ください。

5.5. 収集データ送信 (SD)



収集データをSDカードにインストールします。

(*) 収集データのフォーマットは「7.各種ファイルフォーマット」を参照ください。

5.6. 収集データ送信 (FTP)



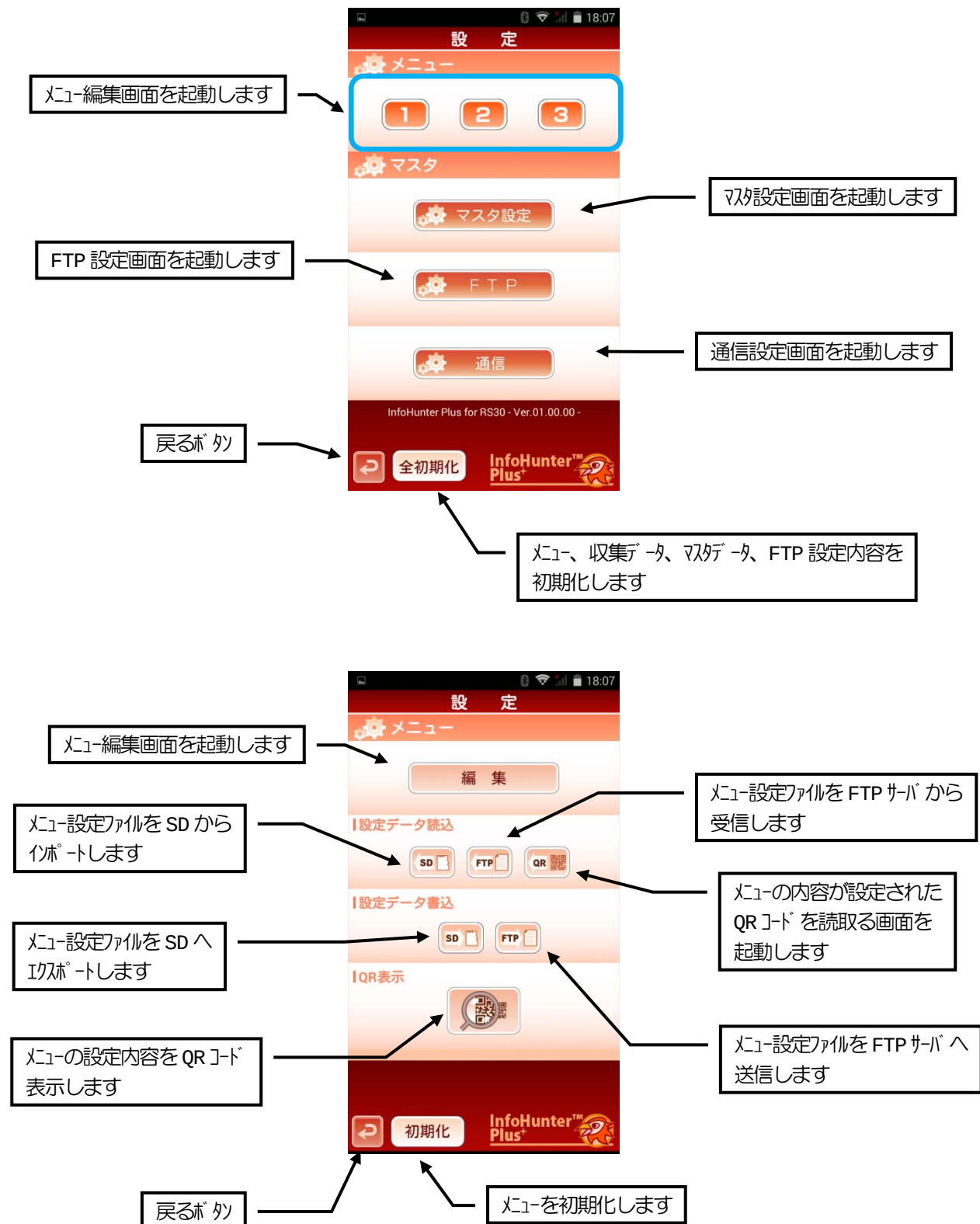
収集データをFTPサーバへ送信します。

(*) 収集データのフォーマットは「7.各種ファイルフォーマット」を参照ください。

5. 設定画面



6.1. 画面の説明



6.2. メニュー編集



1. タイトル
メニューの作業タイトルを設定します。
2. 入力項目数
入力項目数を設定します。(1 ~ 10 まで)
3. 共通項目数
共通項目数を設定します。(0 ~ 9 まで、ただし入力項目数より小さい値)
4. 外部情報を付加
外部参照を行った場合、外部データを収集データに付加します。
5. 日付を付加
収集データに日付を付加します。(フォーマット : 2012/07/31)
6. 時間を付加
収集データに時間を付加します。(フォーマット : 12:00:00)
7. ENT 確定
入力データを全て入力し、入力画面の確定ボタン押下の実行の可否を設定します。
8. 確定時(メール送信)
入力データを全て入力し、入力画面の確定ボタンを実行したとき、入力データの内容をメールで送信します。(メールが起動します)

9. 確定時(印刷)

入力データを全て入力し、入力画面の確定ボタンを実行したとき、設定されている印刷フォーマットで印刷します。

10. プリフィックスデータ機能

この機能をONにすると、入力データの先頭に @01: を付加した場合、そのデータは入力項目の1番目に入力されます。(@01: ~ @10:)

例)入力項目の3番目に@01:ABC123 と入力すると、1番目の入力項目に ABC123 が設定されます。

6.2.1. 入力項目詳細設定



1. 名称

入力項目の名称を設定します。

2. 種別

文字、数字、加号を選択します。

3. 初期値

初期値を設定します。(数量を入力する場合、あらかじめ1を入れておくと便利です)

4. 入力桁数

入力文字数を 最小 ≤ 最大 で設定します。

5. 抽出桁数

入力されたデータから指定された部分の文字列を抽出します。(バーコードスキャから入力したデータの一部分を入力したい場合に、設定すると便利です)

指定範囲は (開始位置 + 桁数) ≤ (入力桁数の最小 + 1) で設定します。

6. 照合

入力項目、もしくはマスタとの照合を設定します。

7. 表示時間

照合結果、マスタ情報画面を表示している時間を設定します。

-1: 表示しません。

0: 戻るボタンが押されるまで表示し続けます。

1 ~ 99 秒の範囲で指定します。

6.2.2. バーコード設定

項目単位のバーコードの読取設定を行います。

設定を行わない場合には、共通バーコード設定を適用します。



(*) バーコード設定は、「8.バーコード設定」を参照ください。

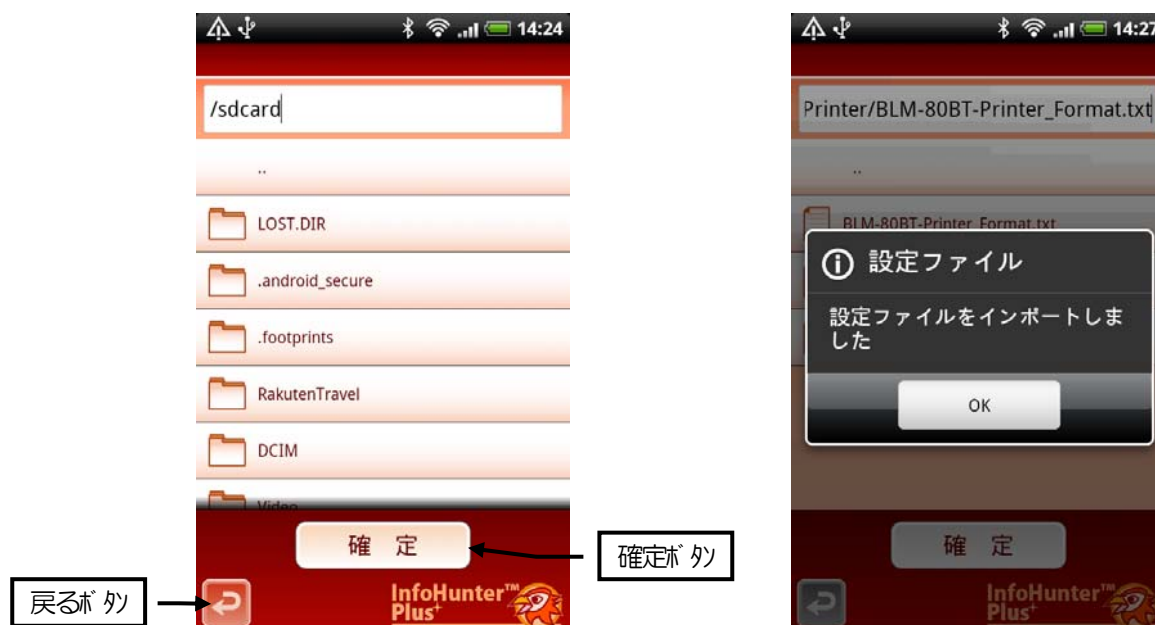
6.2.3. 印刷フォーマット



印刷フォーマットが表示されます。修正する場合には、ワットキボードにて修正してください。

(*) 印刷フォーマットは「7. 各種ファイルフォーマット」を参照ください。

6.3. メニュー読込(SD)



SD のフォルダ / ファイルリストを表示します。インポートするファイルを選択し、確定ボタンを押下してください。

(*) メニューファイルフォーマットは「7. 各種ファイルフォーマット」を参照ください。

6.4. メニュー読込(FTP)



メニューファイルをFTPサーバから受信します。

メニューファイルを受信するには、FTP設定で設定したFTPサーバにアクセスデータを正しく設定する必要があります。

(*) アクセスデータのフォーマットは「7.各種ファイルフォーマット」を参照ください。

6.5. メニュー読込(QR読込)



6.5.1. 内蔵カメラ



QRコードの撮影モードになりますので、QRコードを撮影してください。

画面をタッチすると、オートフォーカスを行います。QRコードが正しく認識できると、読取ったデータが表示されます。このデータで良い場合はOKボタンを、取消す場合はキャンセルボタンを押してください。

QRコードは続けて複数回読むことができます。一括で読込めない場合はQRコードを分割したものを読取るようにしてください。

確定ボタンを押すとメニューに反映されます。

(*) 複数回読込んだ場合、最後に読込んだ入力項目のデータが反映されます。

6.5.2. バーコードスキャナ



通信設定により、画面起動時の動作が異なります。

1. Bluetooth SPP Master

Bluetooth 接続待ち状態になります。パソコン側の電源を入れ、接続後、QRコードを読み取ってください。

2. Bluetooth SPP Slave

Bluetooth 接続を行います。パソコン側の電源を入れ、接続後、QRコードを読み取ってください。

3. Bluetooth HID

テキスト入力欄にカーソルを合わせてから、Bluetooth HIDパソコン側でQRコードを読み取ってください。

(*) 半角カタカナ、全角文字は正常に表示されません、ソフトウェアで修正してください。

4. 接続なし

テキスト入力欄にカーソルを合わせてから、ソフトウェアで入力してください

6.6. QR表示



設定されているメニューの内容をQRコードで表示します。

(*) 端末がインターネットに接続されていないと表示されません。

6.6.1. 一括表示



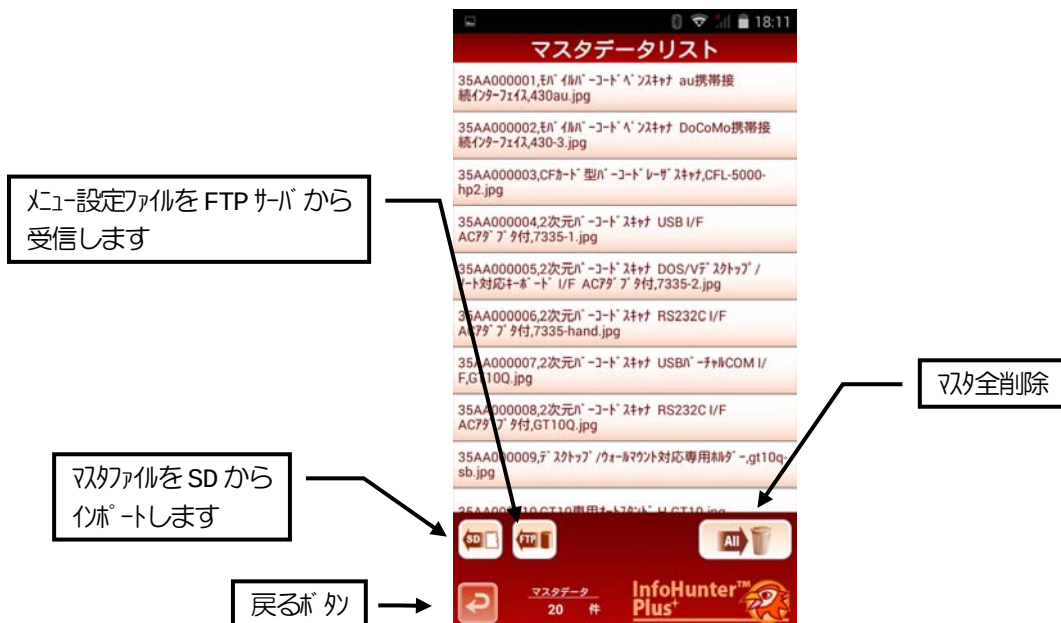
設定されているメニュー内容を一つのQRコードで表示します。

6.6.2. 分割表示



設定されているメニュー内容を分割し、QRコードで表示します。
メニュー内容により、分割枚数は増減します。

6.7. マスタ設定



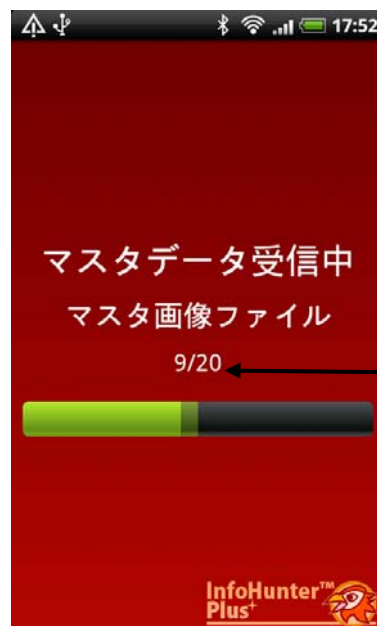
6.7.1. マスタ読込(SD)



SD のフォルダ / ファイルリストを表示します。インポートするファイルを選択し、確定ボタンを押下してください。

(*)メニューファイルフォーマットは「7. 各種ファイルフォーマット」を参照ください。

6.7.2. マスタ読込(FTP)



マスタデータの画像ファイル数が
表示されます



マスタデータをFTPサーバから受信します。

マスタデータを受信するには、FTP設定で設定したFTPサーバにマスタデータを正しく設置する必要があります。

(*) マスタデータのフォーマットは「7. 各種ファイルフォーマット」を参照ください。

6.8. FTP設定



ホスト名(アドレス)、ポート、ユーザ、パスワード、ディレクトリを設定してください。

(*) ここで設定したFTPサーバに対して、収集データの送信や収集データの受信、設定ファイルの受信を行います。

(*) FTPサーバの種類によっては、正常に送受信できない場合があります。

動作確認FTPサーバ: インターネット インフォメーション サービスMicrosoft Corporationバージョン: 6.1

6.9. 通信設定画面



バーコードリーダー、プリンタの設定をしてください。

7. 各種ファイルフォーマット

7.1. 収集データファイルフォーマット

ファイル名は「IHP_yyyymmddhhmmss.csv」のCSVフォーマットとなります。(yyymmdd:年月日、hhmmss:時分秒)

- 1フィールド : メニュータイトル
- 2フィールド : 入力項目 1
- 3フィールド : 複数データの第 2 フィールド
- 4フィールド : 複数データの第 3 フィールド
- 5フィールド : 入力項目 2
- 6フィールド : 複数データの第 2 フィールド 又は 照合結果
- 7フィールド : 複数データの第 3 フィールド
- :
- :
- 29フィールド : 入力項目 10
- 30フィールド : 複数データの第 2 フィールド 又は 照合結果
- 31フィールド : 複数データの第 3 フィールド
- 32フィールド : 日付
- 33フィールド : 時間

(*) 収集しない項目は空となりますので、CSVフォーマットとしては必ず 33 フィールド までのファイルとなります。

例) IHP_20120731120000.csv

```
サンプルメニュー,1234567890,,,35AA000017,データ 内蔵型カメラキャ ..., 1000-earth.jpg,1,...
サンプルメニュー,35AA000015,,,35AA000015,照合 OK,,,...
```

先頭行が最新の収集データとなります

「6.1. 収集データリスト」画面から FTP 送信、メール送信、SD へバックアップを行った場合は、この CSV ファイルを送信します。
FTP 送信、SD へバックアップの場合は、収集した画像ファイルも送信します。

(*) 収集した画像ファイル名は「yyymmddhhmmss_nn.jpg」の Jpeg フォーマットとなります。

nn は入力項目の番号になります。入力項目の 3 番目の場合は、「20120731120000_03.jpg」となります。



宛先/Cc/Bcc を入力して送信ボタンを押下することで
メールを送信することができます
件名、本文については自由に編集が行えます

(*) メール送信した場合は、メール本文に収集した画像ファイルの件数が記載されて、CSV ファイルが添付ファイルとなります。

7.2. マスタファイルフォーマット

ファイル名は「IHP_MASTER.CSV」のCSVフォーマットとなります。

- 1フィールド : コード (*)検索キーとなります
- 2フィールド : 名称
- 3フィールド : 画像ファイル名 (*)画像はJpegフォーマットとなります

(*) FTPサーバのCSVファイルと同じディレクトリに画像を保存してください。

7.3. メニューファイルフォーマット

ファイル名は「IHP_MENU1.TXT」、「IHP_MENU2.TXT」、「IHP_MENU3.TXT」となります。

<pre> <IHP> サンプルメニュー 3 1 1 1 1 1 0 0 0 0 0 : </IHP> </pre>	<IHP> ~ </IHP> で囲まれた中にメニューのヘッダ部を定義します。 メニュータイトル : 任意 入力項目数 : 1 ~ 10 共通項目数 : 0 ~ 9 双外情報を付加 : (0:OFF / 1:ON) 日付を付加 : (0:OFF / 1:ON) 時間を付加 : (0:OFF / 1:ON) ENT 確定 : (0:OFF / 1:ON) 確定時(メール送信) : (0:OFF / 1:ON) 確定時(印刷) : (0:OFF / 1:ON) プリフィックス-外機能 : (0:OFF / 1:ON) バーコード 設定
<pre> <I01> 棚番 0 0 10 0 0 0 0 0 0 0 : </I01> <I02> : </I02> : </pre>	<Inn> ~ </Inn> で囲まれた中にメニューの入力項目部を定義します。 (*) nnは01 ~ 10 名称 : 任意 種別 : (0:文字 / 1:数字 / 2:加算) 初期値 : 任意 入力桁数-最小 : 0 ~ 9999 入力桁数-最大 : 0 ~ 9999 抽出桁数-開始 : 最小の値以下 抽出桁数-桁数 : (最小-開始)以下 照合 : (0:OFF / 1 ~ 11) 表示時間(秒) : -1 ~ 99 (*) -1は表示しない、0は無限 バーコード 設定

7.4. 印刷フォーマット

印刷フォーマットは、メニューファイルフォーマットの中に含まれます。

<EXT> ～ </EXT>で囲まれた中に印刷フォーマットを定義します。

印刷フォーマットは、ヘッダ部、ボディ部、フッター部と3部構成になります。

- ・ヘッダ部

印刷時の最初に印刷を行います。

件数がある場合でも1度のみの印刷となります。

- ・ボディ部

一覧画面からの印刷の場合には、データ件数分印刷を行います。

- ・フッター部

印刷時の最後に印刷を行います。

件数がある場合でも1度のみの印刷となります。

7.4.1. 使用できるコマンド

コマンド	説明
<IHP_HEAD>	ヘッダ部開始コマンド
</IHP_HEAD>	ヘッダ部終了コマンド
<IHP_BODY>	ボディ部開始コマンド
</IHP_BODY>	ボディ部終了コマンド
<IHP_FOOT>	フッター部開始コマンド
</IHP_FOOT>	フッター部終了コマンド
<0> ～ <255>	制御コード「0x00 ～ 0xFF」を表します。
<NULL>	制御コード「0x00」を表します。
<ETX>	制御コード「0x03」を表します。
<BEL>	制御コード「0x07」を表します。
<HT>	制御コード「0x09」を表します。
<ESC>	制御コード「0x1B」を表します。
<FS>	制御コード「0x1C」を表します。
<GS>	制御コード「0x1D」を表します。
[INPUT01] ～ [INPUT10]	入力データを表します。
[MCODE01] ～ [MCODE10]	マスタ名称を表します。
[MIMGE01] ～ [MIMGE10]	マスタ画像ファイル名を表します。
[DATE]	日付を表します。
[TIME]	時刻を表します。

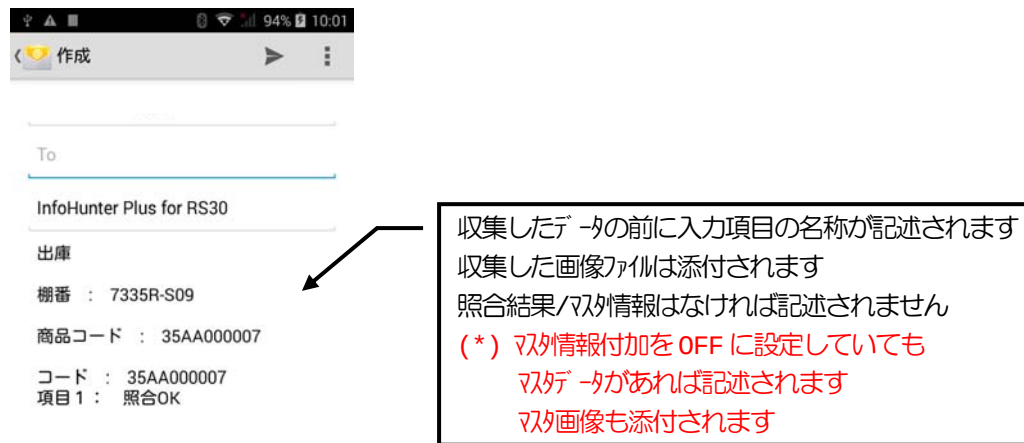
<IHP_HEAD> ～ </IHP_HEAD>、<IHP_BODY> ～ </IHP_BODY>、<IHP_FOOT> ～ </IHP_FOOT>の間に記述出来るコマンドは上記コマンドと各プログラムの取扱説明書を参照して下さい。

(*) 記述されているコマンドが、全てのプリンタへ印刷が行えること動作保障しておりません。

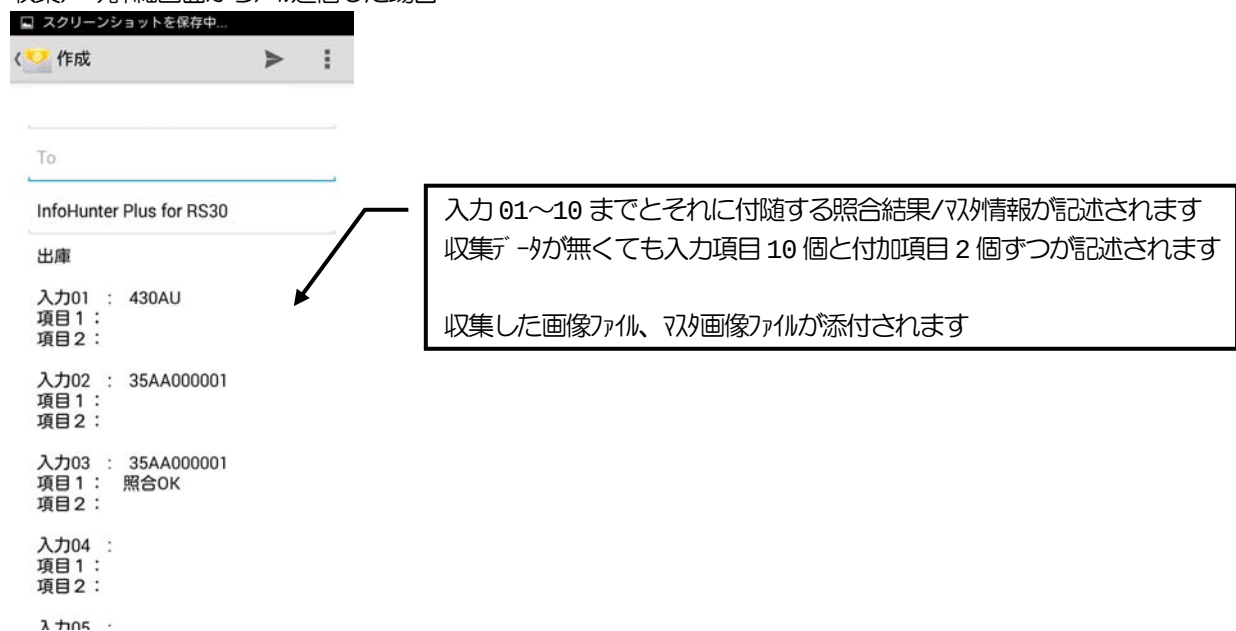
7.5. メール送信フォーマット

収集データを CSV 形式にして添付ファイルで送信します。

入力画面の確定時にメール送信した場合

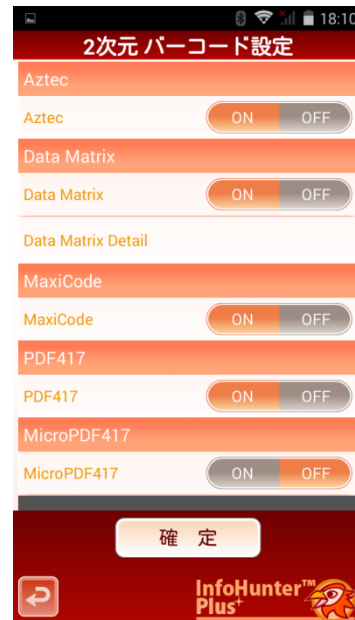
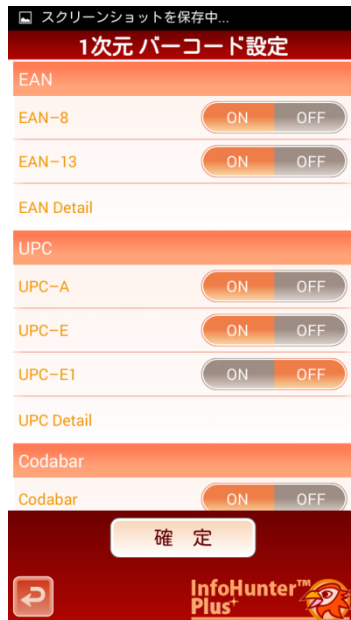


収集データ詳細画面からメール送信した場合



宛先/Cc/Bcc を入力して送信ボタンを押下することでメールを送信することができます。
 件名、本文については自由に編集が行えます。

8. バーコード設定



8.1. 1 次元バーコード 設定

コード 種別	詳細項目	値	デフォルト
EAN8	読取設定	ON	※
		OFF	
EAN13	読取設定	ON	※
		OFF	
EAN Detail	バーコード 2	無効	※
		有効	
	バーコード 5	無効	※
		有効	
	チェックディジット送信	ON	※
		OFF	
	EAN-8 から EAN-13 へ変換	ON	
		OFF	※
	EAN-13 から ISSN へ変換	ON	
		OFF	※
	EAN-13 から ISBN へ変換	ON	
		OFF	※
	ISBN データフォーマット	ISBN 10	※
		ISBN 13	
UPC-A	読取設定	ON	※
		OFF	
UPC-E	読取設定	ON	※
		OFF	
UPC-E1	読取設定	ON	
		OFF	※
UPC Detail	バーコード 2	無効	※
		有効	
	バーコード 5	無効	※
		有効	
	チェックディジット送信	ON	※
		OFF	
	アプリケーション設定	無効	
		システムコード 送信	※
		システムコード / 国コード 送信	
	UPC-A から EAN-13 へ変換	ON	
		OFF	※
	UPC-E から UPC-A へ変換	ON	
		OFF	※
	UPC-E1 から UPC-A へ変換	ON	
		OFF	※
Codabar	読取設定	ON	※
		OFF	
	最小桁数	1 ～ 55	4
	最大桁数	1 ～ 55	55

コード種別	詳細項目	値	デフォルト
Codabar	CLSI 編集	ON	
		OFF	※
	NOTIS 編集	ON	
		OFF	※
Interleaved 2 of 5	読取設定	ON	※
		OFF	
	最小桁数	1 ～ 55	4
	最大桁数	1 ～ 55	55
	チェックイット	無効	※
		USS チェックイット	
		OPCC チェックイット	
	チェックイット送信	ON	
		OFF	※
	Interleaved から EAN-13 へ変換	ON	
		OFF	※
Code11	読取設定	ON	※
		OFF	
	最小桁数	1 ～ 55	4
	最大桁数	1 ～ 55	55
	チェックイット	無効	※
		One チェックイット	
		Two チェックイット	
	チェックイット送信	ON	
		OFF	※
Code39	読取設定	ON	※
		OFF	
TriopticCode39	読取設定	ON	※
		OFF	
Code39 Detail	最小桁数	1 ～ 55	4
	最大桁数	1 ～ 55	55
	チェックイット	ON	
		OFF	※
	チェックイット送信	ON	
		OFF	※
	Code39 フォアキー	ON	
		OFF	※
	Code39 から Code32 へ変換	ON	
		OFF	※
	Code32 プリフィックス送信	ON	
		OFF	※
Code93	読取設定	ON	※
		OFF	
	最小桁数	1 ～ 55	4
	最大桁数	1 ～ 55	55

コード種別	詳細項目	値	デフォルト
Code128	読取設定	ON	※
		OFF	
GS1-128	読取設定	ON	※
		OFF	
	区切り文字	00 ～ 7F	00
ISBT128	読取設定	ON	※
		OFF	
	ISBT バーコード連結	無効	
		有効	
		自動	※
	デコード冗長性	2 ～ 20	10
GS1 DataBar-14	読取設定	ON	※
		OFF	
GS1 DataBar Limited	読取設定	ON	※
		OFF	
GS1 DataBar Expanded	読取設定	ON	※
		OFF	
GS1 DataBar Detail	GS1 DataBar から UPC/EAN へ変換	ON	
		OFF	※
	区切り文字	00 ～ 7F	00
Composite CC-A/B	読取設定	ON	※
		OFF	
Composite CC-C	読取設定	ON	
		OFF	※
Composite TLC39	読取設定	ON	※
		OFF	
Composite Detail	UPC 結合	結合しない	
		結合する	※
		自動	
	GS1 イミレーション	ON	
		OFF	※
MSI	読取設定	ON	
		OFF	※
	最小桁数	1 ～ 55	4
	最大桁数	1 ～ 55	55
	チェックビット確認方法	1 桁	※
		2 桁	
	チェックビット送信	ON	※
		OFF	
	適用チェックビット	ビット 10/11	※
		ビット 10/10	
Coupon Code	読取設定	ON	※
		OFF	
Matrix 2 of 5	読取設定	ON	※
		OFF	

コード種別	詳細項目	値	デフォルト
Matrix 2 of 5 Detail	最小桁数	1 ～ 55	4
	最大桁数	1 ～ 55	55
	デコード冗長性	ON	
		OFF	※
	チェックイグット	ON	
		OFF	※
	チェックイグット送信	ON	
		OFF	※
Chinese 2 of 5	読取設定	ON	※
		OFF	
Discrete 2 of 5	読取設定	ON	※
		OFF	
	最小桁数	1 ～ 55	4
	最大桁数	1 ～ 55	55
Korean 3 of 5	読取設定	ON	※
		OFF	
Australian Postal	読取設定	ON	※
		OFF	
Japan Postal	読取設定	ON	※
		OFF	
Netherlands KIX Code	読取設定	ON	※
		OFF	
US Postnet	読取設定	ON	※
		OFF	
US Planet	読取設定	ON	※
		OFF	
USPS Postal	読取設定	ON	※
		OFF	
UPU FICS Postal	読取設定	ON	※
		OFF	
UK Postal	読取設定	ON	※
		OFF	
Postal Detail	チェックイグット送信	ON	※
		OFF	

8.2. 2次元バーコード設定

コード種別	詳細項目	値	デフォルト
Aztec	読取設定	ON	※
		OFF	
Data Matrix	読取設定	ON	※
		OFF	
	ミラバーコード	無効	※
		有効	
		自動	
	区切り文字	00 ～ 7F	00
MaxiCode	読取設定	ON	※
		OFF	
PDF417	読取設定	ON	※
		OFF	
MicroPDF417	読取設定	ON	
		OFF	※
	Code128 エミュレーション	ON	
		OFF	※
QR Code	読取設定	ON	※
		OFF	
Micro QR	読取設定	ON	※
		OFF	

お問合せ窓口

・弊社ホームページ <http://www.e-welcom.com/> 問合せフォームよりお問合せください。
お問合せ内容は、本製品に関することに限らせて頂きます。

・本ソフトウェアの著作権については、お近くの販売店又は弊社までご相談ください。